

令和2年度 大阪府立茨木工科高等学校(全日制の課程)

第1回 学校運営協議会

令和2年7月20日(月)

午後3時30分～5時00分

大阪府立茨木工科高等学校 会議室

1. 開会の挨拶 (大阪府立茨木工科高等学校 校長 杉山 裕二より)
コロナ禍での学校の現状

2. 座長挨拶
大学の現状についてと本会議への期待

3. 出席者紹介 (大阪府立茨木工科高等学校 教頭 井上 直人より)
 - ・本津 茂樹(近畿大学 名誉教授)
 - ・野村 明仁(茨木市立西中学校 校長)
 - ・諏訪 年信(茨陵会 理事)
 - ・中藪 ひとみ(大阪府立茨木工科高等学校 元PTA 会長)
 - ・丸尾 弘子(大阪府立茨木工科高等学校 PTA 会長)
 - ・俵 比呂志(春日地区自治連合会長)

事務局

- ・杉山 裕二(大阪府立茨木工科高等学校 校長)
- ・井上 直人(大阪府立茨木工科高等学校 教頭・事務局長)
- ・河井 茂美(大阪府立茨木工科高等学校 事務局長)
- ・龍 忠男(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- ・三好 賢治(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- ・橋爪 勇一郎(大阪府立茨木工科高等学校 首席)
- ・岡 和憲(大阪府立茨木工科高等学校 教務部長)
- ・東郷 真明(大阪府立茨木工科高等学校 生活指導部長)
- ・古和 武(大阪府立茨木工科高等学校 特別活動指導部長)
- ・稲垣 義雄(大阪府立茨木工科高等学校 進路指導部長)
- ・堀田 隆志(大阪府立茨木工科高等学校 機械系長)
- ・田中 啓陳(大阪府立茨木工科高等学校 電気系長)
- ・山本 敦子(大阪府立茨木工科高等学校 環境化学システム系長)
- ・赤穂 和則(大阪府立茨木工科高等学校 工学系長)
- ・東郷 鐘信(大阪府立茨木工科高等学校 教諭)
- ・高槻 秀斗(大阪府立茨木工科高等学校 教諭)

4. 令和2年度 本校教育活動について協議（司会：座長）

4-(1). 議題「令和2年度 学校経営計画及び学校評価」（校長より）

- 1 めざす学校像（昨年度と同様）
- 2 中期的目標（ほぼ昨年度と同様）
年間遅刻数が昨年度に中期的目標達成の為、上方修正。令和3年度1200以下。
- 3 本年度の取扱内容及び自己評価より
 - 1 「確かな学力」の育成
 - ・(1)イ 教科指導について私なりの計画で、努力して、中退率2%未満を目指したい。
 - ・(2)ア 今年度は、初めて工学系3年生が共通テストを受験し、それもほとんど受験する予定。そんな指導のなかで、初回合格率90%を実現したい。
 - 2 安心安全で魅力のある学校づくり
 - ・(1)ア 年間遅刻者1300件以下を目指します。遅刻した生徒に咎めるよりも遅刻理由をじっくり聞くということで、先生方の協力のおかげで徐々に減少しています。
 - ・(3)ア 新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で、部活動参加率は50%未満が現状。
 - ・(4)各先生の健康管理、時間外勤務の削減、そして楽しい職場づくりをします。
 - 3 自立・自己実現の支援
 - ・(1)ア 新型コロナウイルス感染拡大対策として、企業と相談のうえ、インターンシップは中止となりました。
 - ・(2)ア コロナの影響により、第二種電気工事士全員受験を前期から後期受験に
 - ・(2)イ 企業訪問も中止し、電話にて聴取または対応しており、現在100件程度求人票については7月から受付開始してもり、現況、ほぼ例年どおり
また、就職試験が9月だったが、今年はコロナの影響により10月になった分、個々に応じた面接指導は充実するように警官している。
 - 4 地域連携・地域貢献の取り組みの推進
 - ・(3)イ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業の関係で、夏休みに授業があり、外部会場との兼ね合いもあり、茨木工科展は中止となりました。

Q&A

特になし。

4-(2). 議題「令和元年度 資格取得状況」（首席より）

- ・鉛作業主任者合格者3人のうちの1人と石綿作業主任者合格者の1人は同一人物
- ・第二種電気工事士の合格数が電気系の人数現象により減っているが、合格率は例年より高い
- ・計算技術検定の合格率を、教科担当に指導の強化をお願いし、昨年度よりも上げたい。
- ・ジュニアマイスターの特別表彰とゴールドを獲得した生徒は同一人物。
- ・ジュニアマイスター制度を紹介し、特別表彰受賞の素晴らしさを説明。

Q&A

Q：コロナの影響については？

A：6月に計算技術検定が予定されていましたが、コロナの影響により試験は見送りに。なお、希望者に関しては期間を開けて参加可能。

Q：特別表彰はどのような生徒に贈られたのか？

A：環境化学システム系の生徒で、色々な資格を自分で探して見つける生徒。

Q：その生徒を学校PR等に起用することはできないか？

A：学校説明会等で是非PRをしていきたい。

4-(3). 議題「令和2年度 入学者選抜」(教務部長より)

- ・資料の数字より実際の倍率は上回っていると予想される。

Q&A

Q：やはり、大学進学者が増えていないのか？

A：年々増えてきている。しかし急激な増加もない。

4-(4). 議題「令和2年度 行事予定」(教務部長より)

- ・新型コロナ感染拡大防止のための臨時休業の影響で夏休みの減少。
土曜日に13回の午前授業を実施。
体育祭と遠足を中止。

Q&A

Q：授業数は賄えられるのか？

A：1学期は必然的に減ってしまうが、土曜日開校等で補充分はなんとか賄える。

Q：実習室の教育環境は悪くなっていないか？

A：クーラーの温度設定を下げる事ができる等の支援を教育委員会から受けている。

4-(5). 議題「令和3年度 使用教科書選定について」(教務部長より)

Q&A

Q：教科書は担当の先生が選定しているのか？

A：各系、各教科担当が選定している。

Q：教科書選定で何らかのフィードバックはできないのか？

A：現在、授業アンケートに教科書についての質問はのっていない。

4-(6). 議題「令和2年度 生活指導について」(生活指導部長より)

- ・遅刻数1300件以下を目標
- ・分散登校中では遅刻は起きづらかった
- ・月間だけで見ると遅刻数は減っている
- ・今年から1・2年生は5分前登校により8:30集合

- ・身だしなみに関しての違反カードは、現状なし。
- ・今年度より、冬の式典ではブレザー着用を必須。
- ・現在、自転車事故が多発(単独事故を含め6月中に20件の怪我が報告)
- ・コロナの影響により自転車交通安全講習会等の講習会が全て延期。
- ・ネットリテラシー講演会、9月に開催予定。

Q&A

Q：生徒全体で自転車登校はどのくらいか？

A：全体の8割程度。

Q：茨木駅から学校に自転車登校する生徒はどのくらいか？少ない気がします。

A：数は把握していないが、家から直接、自転車登校する生徒の方が多いです。

Q：自転車にナンバーを取り付けていますか？

A：茨木工高と書かれた、各学年の色に分け、番号を割り当てた、ステッカーの貼り付けを指導しています。

O：学校側で自転車通学に関してのイヤホン装着の禁止はどうか？

A：すでに禁止をしていますが、その指導をどのようにすれば効果的か考えます。

4-(7). 議題「令和2年度 進路指導について 14期生(令和3年3月卒業予定者) 進路希望状況」 (進路指導部長より)

- ・進路先内訳の学校紹介就職者数の割合を、11期生80%・12期生73%・13期生72%・14期生68%にそれぞれ訂正
- ・卒業予定者177名に対して4年制大学が24名、専門学校が30名、自衛隊が1名、縁故入社が3名、学校紹介での就職が120名で希望している
- ・求人票は現在786件
- ・ハローワークによると、求人数は昨年度より少なくなっているが工科高校はやはり人気であるとのこと
- ・学校紹介での就職者数は減少傾向
- ・工学系の進学率は上昇
- ・就職選考開始日が1ヶ月延長
- ・受験先企業決定が1ヶ月短く
- ・企業見学期間が10日、応募書類の作成期間も10日、面接指導の期間も10日延長するという進路指導の予定。
- ・卒業生を囲む座談会は中止
- ・企業の学校訪問数111社
- ・生徒のオープンキャンパスへの不安、ZOOM等で参加できるのか？ということがある。
- ・1学期の成績集計が遅いため、志望校選定に不安(担任と連携)

Q&A

Q：企業訪問はどうだったのか？

A：自粛期間には行わず、全て電話での対応に。7月からは企業側が学校に訪問している。オンライン企業訪問を企画している会社もあるとか。

4-(8). 「令和元年度 工学系 中学校訪問結果」(工学系長より)

- ・工学系のみ中学校訪問をした理由
定員割れが続いているのでその対策と生徒の質を上げたい
- ・訪問先中学校選定条件
大学進学した生徒が多い
学校に馴染めなかった生徒が進学実績を持っている
学習が厳しい状況になった生徒が多い
- ・中学校へ我が校の内容をアピール。
- ・工科高校の内容は意外と浸透済。
- ・さらにアピールのためもう一度訪問予定。
- ・中学校が思う工科高校に対してのギャップを減らしたい。
- ・回し合格の生徒は、工学系では勉強面で厳しいことを中学校に説明した。
(回し合格の説明もした。)

Q&A

Q：回し合格の制度について、学力が低い子に対して回し合格させても、学習面で追いつかなくなってしまう意味がないのでは？今までの回し合格の工学系の生徒には、どういったフォローをされていましたか？

A：補習等の手厚い授業で対応していました。

Q：電気系・機械系・環境化学システム系にも進学希望がいる場合は？

A：回し合格は学校側で変えることはできず、教育委員会からの指示どおりの入試です。

O：中学生の保護者に対して、もっと回し合格についての説明をするべき。

A：最大限に努力します。

4-(9). 議題「令和2年度 工学系 大学連携授業・特別補習計画」(工学系長より)

- ・コロナの影響により9月以降に大学教授の講習を予定
- ・大学連携授業の遅れを夏季特別講習の開催で賄う

Q&A

Q：他の工科高校との連携はないのか？

A：本来は6月8日の予定だったが今年はコロナの影響で中止になりました。

4-(10). 質疑及び意見交換

Q&A

Q：何日ほど休校したか？

A：4月8日から5月いっぱいまで。

Q：授業等の補充は？

A：一年を通して行う。

Q：修学旅行は？

A：九州の予定だったが、球磨川の氾濫によりラフティングの予定は無しに。

8月末に保護者説明会を予定しているが、厳しい状況が残っている。

Q：文化祭は？

A：行う方向で検討中。11月7日に開催予定。できるだけ例年通りにやらせてあげたい。外部や食品模擬店については他校の様子も伺いながら9月23日までに決定させる。

5. 閉会の挨拶(大阪府立茨木工科高等学校 校長 杉山 裕二より)

6. 事務連絡(大阪府立茨木工科高等学校 教頭 井上 直人より)
次回以降の本協議会については、後日調整します。

第2回予定…令和2年10月下旬

第3回予定…令和3年2月上旬